

JAなすの



まちもヒトもいきいき!くらしの中にJAを

2025

8

AUGUST

vol.353



特集

大田原ソフトボールパーク2025、ファミリーマート杯
青年部活動報告

7/1

田んぼアート第2会場公開！テーマは「近くて遠い」

7月号にも掲載した那須塩原市一区町の中野登喜男さんの田んぼアート。那須塩原市関谷にある「道の駅湯の香しおばら」の隣にある第2会場も公開中です。宇都宮LRTの乗車を待つ宇都宮市の「ミヤリー」と芳賀町の「はがまるくん」が描かれています。また、隣には富士山も描かれ、山の上には謎の未確認物体が現れる仕掛けも！中野さんにとって身近に感じながらも手の届かない距離感を表現しました。

第1会場、第2会場とも9月28日ごろまで公開しています。

地域活性化につながれば嬉しいです。ぜひ田んぼアートを見に来てください！
中野さん



ふるさと納税返礼品でイチゴと梨の申し込み受付が 始まりました！

美味しさを知ってもらい、ブランド力・知名度アップを目指します！

当JAでは、地元の農産物を広くPRし、地域のブランド力強化と活性化に向けて、大田原市・那須塩原市・那須町のふるさと納税返礼品になすの産の農産物を出品しています。

ポータルサイト「楽天ふるさと納税」「ふるさとチョイス」等で取り扱い中です！

◆とちあいか(290g×2パック)

申込受付期間／～令和7年12月31日まで
発送予定／令和8年1月中旬から順次発送

◆豊水(約5kg)

申込受付期間／～令和7年8月31日まで
発送予定／令和7年9月上旬～下旬

◆にっこり(約5kg)

申込受付期間／～令和7年9月30日まで
発送予定／令和7年10月上旬～下旬



農に生きる

活躍する生産者をご紹介します！



農業は分らないことだらけだが、それが楽しい



大田原市寒井

儀 哲也さん (31)

恵さん (31)



《アスパラ部会データ》
●部会員数…99人 ●栽培面積…59畝
●出荷時期…2月～10月



「農業はやりがいがあるって、毎日充実しています」と話すのは儀哲也さん、恵さんご夫婦。アスパラガスを37坪に作付けし、今年で就農3年目になります。

哲也さんは食料問題や農家の高齢化に興味を持ち「自分にできることはないか」と考え、就農を決意しました。そのころ友人の祖父がアスパラ栽培を辞めると聞き、設備をそのまま譲り受けたことがきっかけでアスパラ農家へ。「とちぎ農業未来塾」を受講し、さまざまな農家さんのもとで研修を受け、認定新規就農者になりました。

卒業後は栽培面積を増やそうと、2人でハウス作りから始めました。農家を辞める方からハウスの部品をもらい、2人で約10棟のハウスを建てました。哲也さんは「とても大変でしたが、親や友人、指導員の方が手伝ってくれたので助かりました」と話します。

困ったことがあればアスパラ部会の方々が優しく教えてくれるため、楽しく栽培しています。とちぎ農業未来塾の同期とも悩みを共有し、良質なアスパラを栽培できるよう試行錯誤中の2人。恵さんは「部会員の方は情報を出し惜しみせず共有してくれます。近くを通ったら声をかけてくれて、栽培アドバイスをしてくれることもあります。とてもやさしい部会で、皆さんには感謝しかありません」と話します。

哲也さんは今後について「栽培面積を増やしていきたいです」と笑顔を見せ、「お世話になっている方々に感謝しながら、2人で仲良くやっていけたらいいな」と話してくれました。

6月
29日

大田原ソフトボールパーク2025開催

当JAは、那須地区の学童チームによるソフトボール交流イベント「大田原ソフトボールパーク2025」に参加した子どもたちに無償で配る弁当「おおたわらい飯」の食材（米、タマネギ、ミニトマト）を提供しました。「おおたわらい飯」はアスリートフードマイスター落合千賀子さんが監修したアスリート目線の弁当です。



東京オリンピック金メダリストの峰さんと渥美さん



お弁当を頬張る子どもたち



お弁当を頬張る子どもたち



トマトキーマカレー

7月19日
~21日

第11回 ファミリーマート杯争奪小学生女子ソフトボール大会

地場産商品で応援!

同大会はソフトボールを通じて、地域住民の交流や地域活性化につなげようと開催されています。今年は県内外から21チームが参加。当JAは、JA共済地域貢献活動の一環で第4回から協賛を行っています。

優勝チームへ「那須和牛5kg」、準優勝チームへ「那須和牛3kg」、3位チームへ「なすの梨(幸水)10kg」、参加賞で全チームに「那須のとまと」を贈呈しました。さらに初めて県外から参加した1チームへおもてなしとして、サプライズで「那須和牛2kg」をプレゼントしました。



準優勝した那須町「Nasu Angels」



優勝した神奈川県大和市「大和ホワイトガールズ」

青年部活動報告



今年度の活動の一部をご紹介します。

6月28日 | 青年部親善球技大会

那珂川河畔公園で「第26回那須野農業協同組合青年部親善球技大会」を開き、親睦を深めました。管内4チームによるトーナメントを行った結果、黒磯支部が優勝しました。



7月16日 | 豊浦小学校の児童と看板作り

黒磯青年部員8人と那須塩原市立豊浦小学校の6年生49人が協力して、農畜産物の消費拡大を伝える看板作りを行いました。農業の大切さと地産地消の理解を深めてもらうことを目的に、毎年黒磯地区の小学生と一緒に看板作りをしています。「食と農」をテーマに児童たちに原画を描いてもらい、清水結月さんと吉田陸人さんの作品が選ばれました。青年部員と児童たちが協力してペンキを塗り、約2時間で完成しました。

看板は黒磯総合センターに設置予定です。ぜひご覧ください！





6月16～19日

現場見て広い視野を

東京シティ青果の新入職員研修

園芸作物の重点指定市場である東京シティ青果（株）より依頼を受け、新入社員2人の研修を受け入れました。梨部会の木村隆司さんの園地では梨の摘果作業を体験。また、なす部会の遅沢喜則部会長のほ場では、ナスの芽かき作業を体験しました。この他、集出荷場での荷受け作業や選果施設の視察研修を通して、JAの集荷から出荷に至るまでの流れを学びました。



6月10日

かん水と遮光で障害果の発生を防ぐ

おおたわらミニトマト部会現地検討会・目ざろえ会

おおたわらミニトマト部会は出荷最盛期に向け、大田原市内で現地検討会と目ざろえ会を開きました。本年度は比較的天候にも恵まれ、順調に生育しています。現地検討会では部会員や那須農業振興事務所で生産者のほ場を巡回し、今後の管理方法について話し合いました。目ざろえではサンプルを使い、形状や搬入時の熟度、階級を再確認しました。

部会員16人が約100㎡で栽培し、県内や京浜方面を中心に出荷しています。



6月27日

伊藤孝弘さんが栃木県農政部長賞

ねぎ部会品質共進会ハウス軟白長ねぎの部

那須地域のねぎの生産振興を図るため、同部会の部会員を対象にハウス軟白ねぎの出荷調整等を含めた品質を審査し、上位5人の入賞者を決めました。17点が出品され形状や色味など9項目を審査し、大田原市の伊藤孝弘さんが栃木県農政部長賞に輝きました。

その他の受賞者は以下の通りです。（敬称略）

- 大田原市長賞…増淵まゆみ
- 那須農業振興事務所長賞…増淵直哉
- 那須野農業協同組合長賞…加藤利恵子
- 那須野農業協同組合ねぎ部会長賞…室井孝昭



6月30日 春蚕繭お待たせ



養蚕部会初出荷

養蚕部会は塩那野菜集出荷所で、年間で最も良質とされる「春蚕繭」の初出荷を迎えました。4戸8人の部会員が午前6時過ぎに次々と繭を持ち込み、選繭台に広げ、手作業で汚れや穴あきなどを選別する選除繭作業を行い、759.1^{キログラム}が群馬県の碓氷製糸へ出荷されました。今年は雨が少なかったため、病気の発生がなく、粒ぞろい^{せんけんだい}で美しい、純白な繭に仕上がりました。

出荷は10月末まで年5回行われ、今年は3.4^{トン}の出荷を目指します。



7月7日 なつおとめ栽培を学ぶ

那須塩原市立高林小学校3年生

県が開発した夏秋どりいちご「なつおとめ」を栽培する那須塩原市戸田の渡辺正義さんは、2003年から地元の小学校の校外学習を受け入れています。この日は高林小学校の3年生17人がイチゴハウスの見学に訪れました。

実や花のつき方など、イチゴがどのように育つのかを観察。その後、収穫したてのなつおとめと渡辺さんの出荷先の一つである大田原市の「焼きたて焼き菓子工房kabaco」の特製ショートケーキを味わいました。



7月8日 暑熱対策徹底を



湯津上天狗園芸部会夏ニラ目ぞろえ会

本格出荷に向けて、夏ニラの目ぞろえ会を行いました。生産販売部長の榊原昇さんが選別基準や調整の数値を説明。現物目ぞろえでは、市場関係者と部会員がサンプルを用いて葉色・葉長・葉巾などを細かく確認し、規格を申し合わせました。

ハウス内は高温になりやすいため暑熱対策を徹底し、1ケースでも多く出荷していきたいです

阿久津部会長



7月9日

キャベツの生産者を知ろう!

生産者による学校給食訪問

キャベツ部会の児山裕司部会長が那須塩原市立南小学校を訪問し、3年生35人へキャベツについての授業を行いました。那須塩原市が企画し、生産者と児童との交流による地産地消や食育、地域農業への理解促進を図ることを目的とした事業です。児山部会長は写真や実物を用いてキャベツが育つ過程、大きさなどを説明しました。その後、児童と農業などについて懇談しながら一緒に給食を味わいました。



7月10日



菊池貴亮さんが最優秀賞

第175回JAなすの和牛枝肉研究会

東京都中央卸売市場食肉市場で和牛枝肉研究会が開かれ、大田原市の菊池貴亮さんの出品牛が最優秀賞に輝きました。受賞した枝肉は枝肉重量669^g、格付けはA5等級、BMSナンバー 12。せりでは、1^{kg}当たり3,777円で落札されました。

そのほかの入賞者は以下の通りです。(敬称略)

《優秀賞》森修一、磯博樹 《優良賞》佐藤和徳、木下智昭、永岡雄史、長谷川雅樹



7月11日

産地の旬をお届け

与一の郷ごころ便発送

大田原市の旬の農産物や加工品を詰め込んだ一箱「与一の郷ごころ便」。市の魅力を発信し、ファンづくりにつなげることが目的で、大田原市農業公社が「与一の郷ごころ便」を始めて今年で30年目になります。南部園芸センターで生産者らが米「コシヒカリ」やナス、アスパラガス、ニラ、ネギ、トマトの他、地元で加工したみそやジャムなど厳選した14品目を丁寧に詰め、350箱が全国に向けて発送されました。



7月13日

地元産のきゅうりを提供

第13回那須高原ロングライド2025

那須町の余笹川ふれあい公園をメイン会場に、サイクリングイベント「第13回那須高原ロングライド2025」が開かれ、県内外から約1,650人が参加しました。当JAではJA共済地域貢献活動の一環や農産物のPRを目的にエイドステーションの運営を行い、地元産のきゅうりの漬物1,200本、いなり寿司やアイスなどを提供しました。



定期総会開催

各部会で定期総会が行われ、部会員や那須農業振興事務所、全農とちぎなどが参加し、令和6年度の事業報告や収支決算書、令和7年度の事業計画などが承認されました。その後、各種表彰式が行われました。

受賞者は以下の通りです。(敬称略)

7月15日 《いちご部会》

《第26回立毛共進会表彰》

・最優秀賞…森武寛 ・優秀賞…小貫正明 ・優良賞…小池賢市、小林一男

《第16回指定市場賞表彰》

・盛岡中央青果株式会社賞…高柳敦司 ・株式会社 平果賞…佐藤賢治
・東京新宿ベジフル株式会社賞…渡辺成相 ・東京シティ青果株式会社賞…磯秀明

《優秀部会員表彰》

【販売金額の部】

・最優秀賞…廣木一央 ・優秀賞…森武寛 ・優良賞…鶴野光

【反収の部】

・最優秀賞…小池賢市 ・優秀賞…鶴野光 ・優良賞…森武寛



後列⑥から小貫さん、鶴野さん、渡辺さん、佐藤さん
前列⑥から磯会計、廣木部会長、森さん、高柳さん

7月22日 《うど部会》

《令和6年度品評会表彰》

【山うどの部】

・金賞…佐々木満 ・銀賞…阿久津功、渡邊和之、松本しづ子
・銅賞…平岡信治 ・努力賞…村田光喜、後藤守、塚原俊男

【軟化うどの部】

・金賞…藤田次男 ・銀賞…山田誠一、熊谷栄 ・銅賞…岸保夫

《令和6年度販売上位者表彰》

【山うどの部】

・最優秀賞…柴田慎一 ・優秀賞…益子和幸、稲澤伸悟、松本しづ子
・優良賞…藤田孝子、澤稔

【軟化うどの部】

・最優秀賞…岸保夫 ・優秀賞…山田誠一 ・優良賞…熊谷栄



後列⑥から阿久津さん、渡邊さん、熊谷さん、山田さん
前列⑥から岸さん、佐々木さん、藤田さん、柴田さん



水稻

■水管理

登熟期間中の異常高温は、胴割粒や白未熟粒の発生を助長します。品質・等級下落を防ぐために、異常高温時には、かけ流しや夕方以降のかん水等を行います。

また、玄米の充実を図るため、落水は出穂後30日以降に行いましょう。なお、落水後も高温が予想される場合は、ほ場条件を考慮し、収穫10～7日前頃まで走り水を行いましょう。

被害粒発生助長条件

- 胴割粒
：出穂後10日間の最高気温の平均30℃以上
 - 白未熟粒
：出穂後20日間の平均気温の平均26℃以上
- ※R6年産（出穂期が7/15～8/10の期間内の場合）では、胴割粒、白未熟粒の発生助長条件に該当する場合はほとんどであった（大田原、黒磯アメダスデータより）。



胴割粒（栃木県経営技術課）



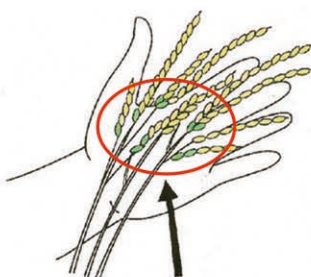
白未熟粒（農水省）
左から乳白粒、背白粒、腹白粒

■収穫

収量・品質の安定のため、適期収穫を心がけましょう。収穫適期は、※帯緑色率（目安：10～3%）で判断しましょう。

稲の成熟には、気温、水田の水量、稲の生育量、施肥量、根の健全度及び倒伏程度など、様々な要因が関係しているため、ほ場ごとに帯緑色率を確認し、収穫適期を判断しましょう。

※帯緑色率＝不稔を除いた、1穂の中に僅かでも緑色が残っている籾の割合（%）



帯緑色率の見方
平均的な生育箇所の穂を5～6本握り、うっすらと緑色した籾の割合で判断する。



帯緑色率3%



帯緑色率10%

また、葉や枝梗は緑色でも、籾はすでに黄色に変化し、収穫適期を過ぎている場合があるので注意が必要です。なお、刈り遅れは外観品質や食味の低下につながるので注意しましょう。



収穫時期でも葉や枝梗が緑色の例

■乾燥・調製

籾水分が高い状態で収穫し、その後急速に乾燥すると、「胴割粒」が発生します。

通風乾燥で水分をある程度落とした後、徐々に乾燥温度を上げるようにしましょう。

大豆

■病害虫防除

カメムシ類は、8月下旬からほ場に侵入し始め、9月中旬～10月中旬に発生量がピークとなります。昨年の収量・品質低下の大きな要因の一つと考えられますので、必ず防除をしましょう。

主に被害を受ける時期は、子実肥大初期（9月上旬）～後期（9月中旬）です。子実肥大初期は、カメムシ類の吸汁害による収量・品質低下や、マメシキイガ等の食害による減収の被害を受けやすい時期です。また、この時期の吸汁害は、昨年管内の一部ほ場で散見された、ほ場内の成熟むら（青立ち株）の一因にもなります。子実肥大後期の吸汁害は品質低下につながり、また機械選別も困難となります。

カメムシ類の防除が最も必要な時期は、莢伸長期（開花後15日）～子実肥大

麦

■土作り

土壌診断の結果に基づき、土づくり肥料を施用し、地力の向上・維持に努めましょう。

麦類は酸性に弱く、土壌が酸性化すると収量に大きく影響するので、播種前にpH6.5を目標に、苦土炭カル等を施用しましょう（標準的な施肥量は60～100kg/10a）。

リン酸は根の発達や分げつの発生を促進するため、特に生育初期に重要な成分です。基準値20～60mg/100gを目標に、OM-37等を施用しましょう（標準的な施用量は80～100kg/10a）。



左からイチモンジカメムシ、アオクサカメムシ、ホソヘリカメムシ



マメクイシンガの幼虫 カメムシ類による被害粒（肥大後期の被害）

（写真はすべて栃木農研センター提供）

大中期（開花後40日）頃です。この時期の防除を怠らないよう心がけましょう。

また、紫斑病やハスモンヨトウ等の他の病害虫防除と併せて効率的に防除しましょう。紫斑病との同時防除の例としては、1回目：8月下旬、2回目：9月上旬中旬です。なお、多発時には、9月下旬に3回目の防除を行いましょう。

ねぎ選果施設 パートさん追加募集!

業務内容 ねぎの調整・箱詰め作業・フォークリフト作業等

勤務地 JAなすの ねぎ選果施設(大田原市富池2431)

勤務期間 令和7年9月中旬～

勤務時間 午前8時30分～午後5時
※ねぎの集荷量により、時間外または時間短縮あり

時給 **1,050円** (諸手当別途有り)

募集締切 **令和7年9月12日(金)**

年齢性別は問わず、健康な方!
※約15kgのねぎの束を荷下ろし
しますので体力に自信のある方。



応募方法 下記担当部署へご連絡願います。日程を調整し、面接を実施させていただきます。
JAなすの 南部園芸センター(担当/齊藤) TEL 23-3336

畜産情報

7月期・矢板家畜市場成績(和牛子牛)

(単位: 頭、kg、円、敬称略)

アグリ センター	雌						去						合計	
	頭数	平均価格	平均 体重	k g 単価	最高価格	最低価格	頭数	平均価格	平均 体重	k g 単価	最高価格	最低価格	頭数	平均価格
大 田 原	17	559,964	306	1,827	672,100	421,300	9	697,888	328	2,123	838,200	565,400	26	607,707
塩 那	19	582,189	290	2,003	848,100	431,200	22	691,600	325	2,127	878,900	496,100	41	640,897
黒 羽	6	559,716	289	1,937	689,700	476,300	11	690,500	329	2,094	976,800	541,200	17	644,341
湯 津 上	8	611,600	285	2,145	1,108,800	401,500	12	640,750	312	2,052	886,600	441,100	20	629,090
那 須	96	594,068	301	1,972	1,002,100	369,600	109	687,489	327	2,099	981,200	457,600	205	643,741
黒 磯	101	585,319	302	1,932	806,300	402,600	127	738,151	347	2,126	1,063,700	358,600	228	670,450
合 計	247	586,963	301	1,952	1,108,800	369,600	290	708,491	335	2,112	1,063,700	358,600	537	652,592
矢板市場	363	584,196	301	1,936	1,108,800	138,600	428	709,343	336	2,107	1,063,700	341,000	792	651,751
概 況	●7月の矢板家畜市場は、802頭上場にて792頭が成立し、前年同月比49頭増となりました。 平均価格は対前月比雌2,987円安、去勢47,383円安となりました。												●購買者数 初 日 152 名 2 日 目 142 名	
最高価格 販売者	1日	雌	清水 芳夫			大田原市		337kg		1,108,800円		福之鶴×安福久×勝忠平		
		去	(有)瑞穂農場			那須塩原市		392kg		1,002,100円		福勝鶴×安福久×平茂晴		
	2日	雌	伊藤 雅之			那須町		310kg		907,500円		福勝鶴×安福久×平茂勝		
		去	(有)瑞穂農場			那須塩原市		411kg		1,063,700円		福勝鶴×安福久×勝忠平		

第175回JAなすの肥育牛部会和牛枝肉研究会結果

開催日: 令和7年7月10日(木)
開催場所: 東京都中央卸売市場食肉市場

褒賞	出品者	父	母の父	母の祖父	格付	BMS	ロース面積	重量	単価
最優秀賞	菊池 貴亮	百合未来	美国桜	勝忠平	A5	12	135	669	3,777
優秀賞	磯 博樹	福之姫	安福久	勝忠平	A5	12	107	613	3,102
優秀賞	森 修一	福之姫	安福久	平茂勝	A5	12	103	625	3,201
出品頭数 40 頭	AB5率80%・AB45率95%				平均			591.8	2,405

あぜみちのうた

俳句

天麦秋や里のはずれの理髪店

那須塩原市石林 大石 和代

地蜘蛛の巣に昨夜の雨が光りをり

大田原市浅香 益子 文彦

人炎天に父母眠る丘に立ち

大田原市乙連沢 渡邊 則子

秋蟬や定めのままの命なり

大田原市大久保 益子 悟美

地味な花葉は鮮やかな半夏生

大田原市松木沢 菅生 征子

梅雨霞熊野権現鎮守杜

大田原市蛭田 墨谷 利枝

那須五葉青く霞んで夏到来

大田原市美原 上田 和枝

初茄子の矜持の艶を愛づる朝

那須塩原市石林 坂 由雄

手土産は朝収穫のキャベツかな

那須塩原市連野沢 阿部 直己

庭隅の額紫陽花の盛りかな

那須塩原市下永田 菊地 美路

たちあおい人影のなき廃校舎

那須塩原市箕輪 室井 惇子

孫たちの押し寄せてくる夏休み

兵庫県明石市 小田 和子

短歌

〇どこまでも緑がつづく田んぼ道

始めての道しずかに進む

大田原市蛭田 長谷川 通江

〇噴水に飛び込む子らのその気持ち

よく分かるのよ太陽じりじり

兵庫県明石市 小田 和子

〇今日も立つ交通指導に右左

心砕いて生徒等守る

大田原市美原 上田 和枝

この猛暑野菜と草は伸びるけど

草取り出来ず老は悔しい

大田原市松木沢 菅生 征子

炎天下グラウンドゴルフに汗流し

木陰でひと息心地いい風が

大田原市蛭田 遅沢 正子

真夏日が連日続き梅雨明け

早い梅雨明け水が心配

大田原市浅香 益子 文彦

花柄のレターケースひらくたび

あの日の君が元気をくれる

那須塩原市箕輪 室井 惇子

那須山も庭の木々にもしだれて

牧の牛等も息たえだえに

那須町千振 中島 君江

西瓜割り勿体無いから最初から

切って食べると今風の子ら

兵庫県明石市 小田 慶喜

節になり淡竹持参の友ありき

長き厚誼感謝するなん

那須町上川 井上 清一

川柳

課題「畜産」

〇放牧の牛の長閑な大あくび

兵庫県明石市 小田 和子

〇出荷の日眼と語る別れ際

大田原市乙連沢 渡邊 則子

〇クラシック聴いて牛さん乳を出す

畜産で一手間かけて増す利得

那須塩原市箕輪 室井 惇子

いつの日か身を減ぼして人救う

若い頃牛の難産取り上げて

大田原市松木沢 菅生 征子

懐かしい牛豚飼った若い頃

後継者なくて畜産やめた家

那須塩原市鍋掛 猪瀬 さと子

畜産の苦労喜び肌で知る

うさぎ二羽飼って畜産業の真似

大田原市美原 上田 和枝

いただきます牛ブタトリに手を合わす

いたたきます牛ブタトリに手を合わす

大田原市浅香 益子 文彦

婆ちゃんが牛呼ぶ時はみなハナコ

大田原市大久保 益子 悟美

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市大久保 益子 悟美

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市大久保 益子 悟美

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市大久保 益子 悟美

「自由吟」

〇旗竿がポツンと立って旧校舎

〇養殖の鮎を河原でバーベキュー

〇ポーズとる入道雲の力こぶ

夕立ちやひと息ついて虹を見る

氷水ごくり命にしみ込ませ

これからが本番ですよ議員さん

こすめがじゃれあっている庭の隅

何もせず三度の食事感謝のみ

世の中に減益世代のさばらせ

夏椿育ち成木庭の主

梅あたりぎつしりなって後苦勞

あじさいを友とながめる帰り道

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

大田原市浅香 益子 文彦

2025年10月号のお題「出来秋(できあき)」「天・地・人および〇が付いた作品が上位3句です」

応募方法

- 郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ、下記へお送りください。
- 宛先 〒325-0017 那須塩原市黒磯6-1 JAなすの総務課広報係「あぜみちのうた」
- Eメール soumu@janasuno.or.jp *題名に「広報係」とご入力ください。
- 締め切りは 9月10日(水) です(消印有効)。「短歌」「俳句」「川柳」とお書き添えください。

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。

那須野 こぼれ話

那須野に生きる木（その五）

今回は百日紅と桜の話です。

村の歴史を伝える百日紅

那須野の百日紅は、墓地によく見ます。身ごもった摩耶夫人が庭園で百日紅に触れようと右手を伸ばした時、その右脇下からお釈迦様が誕生したという伝承が生きているのでしょうか。

百日紅はサンスクリット語でアショークといい、漢字では無憂樹と書くそうです。菩提樹の別名で知られる沙羅双樹（夏椿）も、日本では庭木に好まれています。百日紅も沙羅双樹もインドでは全く異なる木だそうです。

樹齢が三百年以上と伝わる百日紅の巨木が、大田原市上石上の農家の庭にあります。



命を救ってくれたお礼に毎年見事に花を咲かせる百日紅（大田原市上石上）

上石上・下石上・薄葉地区の集落は、江戸時代までは箒川の河川敷にありましたが、度重なる箒川の氾濫を避けるために、会津中街道を挟んで等間隔に家並みを揃えてつくり直したそうです（那須塩原市の上大貫・下大貫・高阿津地区も同じ）。

空から見ると、街道沿いに並ぶヤウラ（防風林）を背負った縦列家屋の景観が那須野の特徴を示しています。

上石上では、この百日紅の樹形が見事なので、インドから直接持たされたと伝えられています。河川敷に集落があった時にも集落を見守るように立っていて、根元には数多くの五輪塔や墓石があったそうです。

花の見事な咲きぶりを「シャクジッコ」と呼び、花の咲き方で農作物の出来・不出来を占うほど地域で大切にしていました。

元は倍ほどもあったという百日紅の衰えを憂いた農家が、自費で庭に移動し見守ります。河川敷に集落があった名残として、同じ苗字の一族が祀る社や祠も田んぼの中に見ることができます。

巨樹が咲かせる赤い花が、会津中街道や那須野の里山の歴史を今に伝えているのです。

義経伝説を伝える桜

「時庭の神楽」（那須町指定無形民俗文化財）で知られている那須町時庭に、義経伝説を伝える桜の木があります。

「時庭の神楽」は、那須野では珍しい二人立ち獅子舞（正月の門付け芸能で知られる）です。二月下旬、地域安寧と豊作祈願を込めて、若衆が各家を巡り演じます。

その道具を安置する自治公民館の近くで、春には見事な花を咲かせ地域の人たちや道を行く人々の目を楽しませてくれます。

この桜は、平安時代末期に台頭してきた平家の目を逃れ奥州平泉の藤原秀衡を頼る常盤御前が、幼い義経たち三人の子どもたちを連れてこの地に着いた時、杖にしていた木が成長したものだそうです。「時庭」という地名の響きに結びついて伝わります。

平家打倒に失敗した源義朝の子頼朝は伊豆に逃れ、弟義経は京の鞍馬から奥州平泉の同族藤原秀衡に匿われることは歴史書『吾妻鏡』に記録されますが、母常盤御前と一緒だったかは不明です。

那須町には、多くの義経伝承が伝わります。古代東山道駅路の歴史を物語りにして歩いた旅の文芸者が、山里に咲く桜の巨木の生命力を愛でて残したのでしょうか。



義経伝説を今に伝え道行く人の目を楽ませるときわの桜（那須町時庭）

なっちゃんのイチオシ 地元ごはん!

大田原市
『hikari no café 蜂巢小珈琲店』さん



お店のイチオシ!
・ダブルサンドイッチ
(ランチ限定) 1,760円
※価格は税込みです

お店の人気料理!
・ローストビーフ
(金曜ランチ限定) 1,760円
※価格は税込みです



- 穏やかな時間を過ごせるお店 -

旧蜂巢小学校をリノベーションしたカフェ「hikari no café 蜂巢小珈琲店」さんです。自家焙煎のコーヒーの香りが店内を包み込み、落ち着いた穏やかな時間を過ごすことができるなす。ランチは週替わりでメニューを楽しむことができ、ダブルサンドイッチ、スキレット料理、ライスボウルの3種類から選べるなす～!

おすすめは金曜日限定のローストビーフ。牛モモ肉を贅沢に使用し、じっくり焼き上げ肉のうまみをしっかり味わえる一品なす。人気料理のダブルサンドイッチは、自家製食パンを使用したサンドイッチとパニーニを味わうことができるなすよ～。ランチはドリンクとデザートもついていて、満腹間違いなし!



《hikari no café 蜂巢小珈琲店》
大田原市蜂巢295

T E L 54-2255

定休日 日曜・月曜

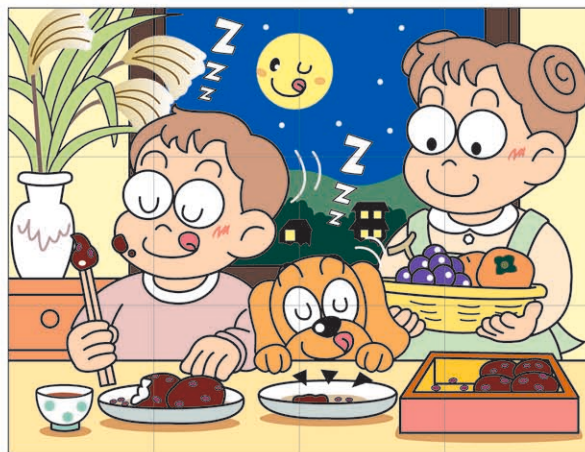
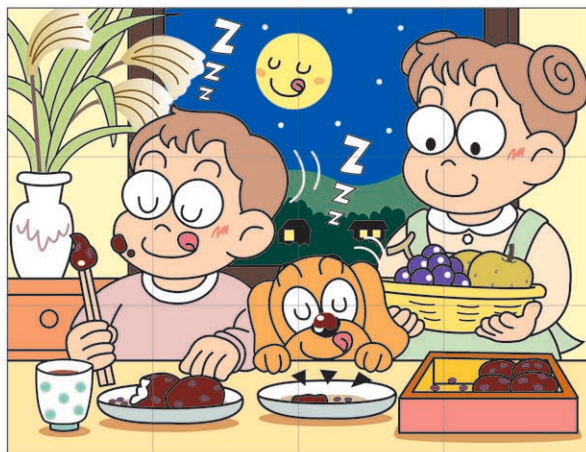
営業時間 11:30～17:00
ランチ 11:30～14:00

テイクアウト 要予約 駐車場 あり



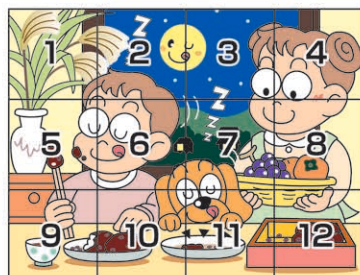
ホームページQR





まちがいがし

Q 間違いは5つ 正解者の中から抽選で5名様に
枠内の数字で答えましょう。 **QUOカードを差し上げます。**



出題・イラスト：酒井栄子

応募方法 ①クイズの答え ②郵便番号と住所 ③氏名 ④年齢
⑤電話番号 ⑥身近な出来事、JAに対するご意見などを書いて、下記の宛先までご応募ください。

送り先 〒325-0017 那須塩原市黒磯6-1 JAなすの 総務課広報係
Eメール soumu@janasuno.or.jp ※題名に「広報係」とご入力ください

締め切りは**9月10日(水)**の消印有効です。

●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。●個人の情報については、賞品の発送以外には使用しません。●いただいたお便りは誌面で紹介することがあります。

《7月号の答え「1・3・8・10・12」でした。》

クイズに
答えて
プレゼントを
ゲット

くらしの活動

6/26 ハッピーライフセミナー じゃがいも品種食べ比べ

「家の光6月号」の記事を活用し、じゃがいもの食べ比べを行いました。なすのマルシェなど近隣の直売所に出荷されている9品種を使い、じゃがバターやアリゴ(伸びるマッシュポテト)、シャキシャキサラダなどに調理し、品種による味や食感の違いを楽しみました。



7/15 プロから教わる郷土料理 たんさんまんじゅう

佐久山の「菓子づくり松月」さんを講師に迎え、プロの技とコツを丁寧に教えていただきました。基本の黒糖たんさんまんじゅうの他、抹茶、かぼちゃ、桜、小麦の5種類の饅頭を作りました。出来たてほかほかの饅頭は格別でした。



7/26 なっちゃんクラブ 枝豆の収穫体験

5月にみんなで種を蒔いた枝豆を収穫しました。たわわに実った枝豆を力いっぱい引き抜きました。汗だくで頑張った後、昼食は枝豆たっぷりのご飯をいただきました。



女性会 わたしたちの活動報告

7/2-4 JA栃木女性会 JA栃木女性会統一企画旅行

栃木県内9JAの女性会員と関係者約170名が参加し、小豆島と大阪関西万博を訪れました。オリーブ公園や二四の瞳映画村、万博ではパビリオン「EARTH MART」に入場し二泊三日の旅を満喫しました。



7/8 湯津上地区女性会 健康講座

女性会生活学校開校式と健康講座を行いました。15名が参加し、農協共済中伊豆リハビリテーションセンターの山中講師を迎え「フレイル・認知症の基礎知識と予防体操」を行い楽しい時間を過ごしました。



7/1 黒羽地区 なごみのサロン 上町ミニデイ

手ぬぐい帽子を作り、カルタやボッチャをして楽しい時間をすごしました。



ひまわり会 ミニ デイサービス

7/4 大田原地区 ひまわりルーム 栄町ミニデイ

手ぬぐい帽子を作り、ひまわり会員による認知症の話を聞きました。



7/15 湯津上地区 おしゃべりサロン 蛭田ミニデイ

手ぬぐい帽子を作り、体操やゲームをして楽しみました。



7/17 大田原地区 ひまわりルーム 薄葉ミニデイ

手ぬぐい帽子を作り、ひまわり会員による認知症の話を聞きました。



7/23 那須・黒磯地区 おたっしやでい 寄居ミニデイ

手ぬぐい帽子を作り、体操やゲームをして楽しみました。



那須どうぶつ王国で那須和牛を食べよう!

那須和牛振興協議会は、那須町の「那須どうぶつ王国」と連携し、7月10日開催の「第175回JAなすの和牛枝肉研究会」などで、購買者へ那須どうぶつ王国グッズとペアチケットを贈呈しました。那須和牛販売と観光客の誘致を促進し、那須和牛や地元食材をPRすることで地域活性化につなげることが目的です。

また、那須どうぶつ王国では那須和牛を使用した「那須和牛カレー」や那須の農畜産物がギュッと詰まった那須の内弁当「なすべん」が販売されています。

那須どうぶつ王国
ホームページ



那須和牛カレー・・・1,300円

場所／ヤマネコテラス

※料金が変動する可能性がありますのでご了承ください。



那須の内弁当「なすべん」・・・2,000円

場所／バーベキューガーデン

1日10食・土日祝日限定(予約制) ご予約は3日前まで(TEL:77-7070)

食べてね! 那須塩原の野菜

P5で紹介した青年部の看板事業で、那須塩原市立豊浦小学校6年生の太田結菜さんが素敵なイラストを描いてくれたのでご紹介します。



かわいく描いてくれて
うれしいなす♪



2025国際協同組合年

2025 International Year of Cooperatives



国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標（SDGs）に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年（International Year of Cooperatives：IYC）に決めました。

協同組合は国際協同組合年を機に、相互扶助（助け合い）の精神に基づき、持続可能な地域社会づくりにいっそう貢献してまいります。

協同組合はよりよい世界を築きます

Cooperatives Build a Better World



国際協同組合年

2025国際協同組合年全国実行委員会

事務局：一般社団法人日本協同組合連携機構（JCA）



2025国際協同組合年
全国実行委員会は
IYC2025に賛同しています。

那須地域で良食味米コンクールを開催

栃木県那須農業振興事務所、JAなすの、大田原市、那須塩原市、那須町などで構成する那須地方農業振興協議会は、那須地域の米生産者を対象とした「第12回那須地域良食味米コンクール」の参加者を募集しています。当コンクールは、生産者の良食味米生産意識の向上と、那須地域の良食味米を県内外にPRし、ブランド力のさらなる向上を目的に毎年開催しています。

12回目の開催となる今回は、2部門（「コシヒカリ部門」と「とちぎの星・その他良食味米部門」）で行われます。一次審査の機械分析等により選ばれた各部門上位2点から、一般消費者らによる食味審査を経て、最優秀賞1点が選出されます。参加希望者は、令和7年10月3日（金）までに申込書と玄米400gを那須農業振興事務所に提出ください。

詳しくは、那須農業振興事務所のホームページで確認するか、同経営普及部農産課に問い合わせください。

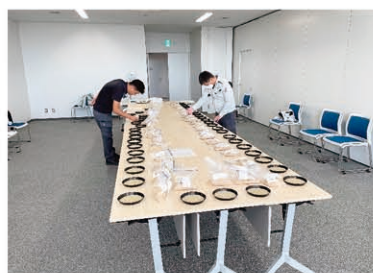
☎0287(22)2826



受賞者(昨年)



審査風景



理事会だより

第15回定例理事会

(2025年7月29日)

【主な決議事項】

- ①令和7年度6月末実績検討について
 - ②令和7年度地区運営委員会の開催について
 - ③第29回JAまつりの開催について
- その他 1項目

【主な報告事項】

- ①JAバンク基本方針に基づく
「体制整備モニタリング報告」について
 - ②令和6年産米6月末販売状況について
 - ③令和7年産米出荷契約取りまとめ状況について
- その他 8項目

なすののすがた

- 組合員数…………… 20,998人
 - 出資金…………… 37億9,826万円
 - 主要事業取扱高
- | | |
|--------------|----------------|
| 貯金残高…………… | 1,705億3,022万円 |
| 貸出金残高…………… | 446億7,560万円 |
| 購買品供給高…………… | 27億8,894万円 |
| 販売品販売高…………… | 76億316万円 |
| 長期共済保有高…………… | 4,681億 6,638万円 |
- (2025年6月30日現在)

編集後記



プライベートでも那須どうぶつ王国に行ってきました。施設がリニューアルされていて新鮮な気持ちでした。スナネコがとっても可愛かったです！

さかちゃん



※誌面の都合上、取材させていただいた記事を掲載できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

無料法律相談会《9月》

組合員の方であればどなたでも、弁護士(JA指定)の無料法律相談が受けられます。

令和7年9月18日(木)

- 時間 午後1時45分から(予約先着順となります)
- 場所 本店 ※お申し込み・お問い合わせは各支店まで

組合員資格等の確認

組合員の方で住所・氏名等の変更、または死亡に伴うお手続きがお済みでない方は、誠に恐れ入りますがお近くのJA支店までご連絡をお願いいたします。

なお、死亡後60日を経過した場合は脱退扱いとなりますので、期限内にお手続きをお願いいたします。

※出資金の脱退及び一部払戻し手続きをされた場合、当JAの規定により年1回決められた時期に払戻しとなります。

土地建物相談センター 営業時間変更のお知らせ

令和7年9月1日(月)より土地建物相談センターの営業日および営業時間を下記のとおり変更させていただきます。

変更前 営業時間/9:30~18:00
定休日/水曜日、祝祭日



変更後 営業時間/9:30~17:30
定休日/日曜日、水曜日、祝祭日

ご利用の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】
土地建物相談センター
TEL:24-2690



「みんなのよい食プロジェクト」とは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、消費者のみなさんで一緒に考えて、行動していく運動です。



支店 からこんにちは

身近な出来事を
お伝えします！

塩原支店

一面にクマガイソウが広がる

小山吉信さん（73）はクマガイソウを育てています。「クマガイソウ」とは、絶滅危惧種に指定されている希少なランの一種で、垂れさがった袋のような形の花が特徴です。40年くらい前に知人から株を十数本譲り受け、年々繁殖してきました。毎年5月中旬ごろに満開になります。

小山さんは「数年後にはもっと咲かせるのが夢です。たくさんの方が訪れて、にぎやかになってほしい」と笑顔を見せてくれました。小山さん宅の裏道から日留賀岳に登ることができ、登山口にクマガイソウが咲いています。機会があればぜひ見に行ってみてください！ 塩原支店 通信員



郡須支店

何気ない日常を絵や文字に

「一日一枚のペースで作成することが今の日課です」と話す石塚キヨさん（84）は、2014年に農家を営みながら何か趣味として楽しみたいと参加した「絵手紙教室」がきっかけで心動かされ始めました。

絵の題材は、特別なものでなく季節の花や野菜を中心に、顔料と墨と筆を使って描いています。認知症予防にと期待し続け、絵手紙仲間やお友達と絵手紙を送りあってコミュニケーションをとっているそうです。

石塚さんは「お友達から絵手紙が届くことを毎日楽しみに過ごしています」と話します。 小山 美智子 通信員



アグリセンター 営業日のお知らせ

7月1日～10月31日まで、
日曜日が定休日となります。

※毎週月曜日～土曜日（祝日を含む）営業 【営業時間/午前8時30分～午後5時】



支店お問い合わせ先 市外局番0287

本店	(代表)TEL 62-5555	黒羽支店	TEL 54-1167
大田原南支店	TEL 28-1131	湯津上支店	TEL 98-2315
大田原北支店	TEL 23-6641	那須支店	TEL 72-6111
西那須野支店	TEL 36-0077	黒磯支店	TEL 63-2331
塩原支店	TEL 35-2531		



各種お問い合わせ先はこちら

交通事故をしてしまったら	0120-258-931
車が故障してしまったら	0120-063-931
キャッシュカードを紛失してしまったら	0120-082-065 (夜間・土・日・祝の紛失/24時間受付)
葬儀に関するご相談は	アトラス大田原ホール 0120-079-097 アトラス高久ホール 0120-666-321
灯油の配送は	JAエルサポート TEL0800-700-0085
旅行の相談は	農協観光 栃木エリアセンター TEL028-616-8988
農機・自動車の相談は	JAなすのサービス(株) TEL22-6858

JAなすの広報誌

JAなすの

vol.353

2025年8月15日発行
(次回は9月15日発行)

発行/那須野農業協同組合 発行者/代表理事組合長 渡邊 一夫
編集/総合企画部総務課 〒325-0017 栃木県那須塩原市黒磯6番地1
印刷/宇都宮市栄町6-10 伴印刷株式会社
TEL/0287-62-5555 FAX/0287-62-6660 E-mail/soumu@janasuno.or.jp



ホームページ
http://www.janasuno.or.jp/



Instagram
@ja_nasuno



情報配信サービス
janasunomail@w.bme.jp



とちぎの農業で働こう！
県内の「農業のお仕事」
検索サイト
https://entori.jp/tcchu-ja